

令和7年度国際関係学部一般選抜A個別方式（第2期）出題意図について

歴史総合，世界史探究

国際関係学部で学修する内容を踏まえ，地域を跨いだグローバル史の基礎知識を身につけているかを確認する問題となるよう心がけた。

大問1

古代インド文明の特徴について，法典，宗教，芸術から問い，全体的な古代インド文明に関する基本的な理解力を確認する出題となっている。特に芸術，当時の文明を反映する作品についての設問を盛り込み，正誤形式で出題を行った。

大問2

ビザンツ帝国は6世紀のユスティニアヌス帝の時に領土を拡げていくものの，その後は領土を縮小させていく。本問は，東西交易の中心のひとつであったビザンツ帝国の変遷を念頭に置きつつ，ヨーロッパ史にとどまることのない影響を持ったこの地域周辺に関する基本的な理解を地理的な観点から問うものである。

大問3

史料A，Bからは，清朝が西欧世界に対して中華思想を保てなくなっていく外交的な過程を1次資料から理解できていることを確認する出題をした。史料Cからは，そのような危機的状況を打開する方法として，中国を近代西欧のモデルに沿った国民国家・民族国家として建設する必要，さらにそれに伴う新しい中国史構築の必要を訴える革命家の主張を読み取る能力を確認する出題をした。

大問4

西半球の近現代史がアメリカ合衆国の度重なる干渉を受けながら形成されていった過程を理解しているかを問うものである。年表を用いて，ラテン・アメリカ地域の近現代史の展開に関する知識を身につけているかを確認するとともに，その内容について欧米との関係も念頭に，外交面だけでなく，人種・イデオロギー的な影響についても出題した。